



卓越した大学院拠点形成支援国際フォーラム

# 実践知と教育研究の未来

Practical knowledge and educational studies for the future

日時 **3/20・21**  
 (水・祝) (木)

場所 **京都大学** 百周年時計台記念館  
 芝蘭会館別館

## 企画趣旨

教育研究はこれまで学校教育を中心とする教育実践を支えてきました。高度情報化社会の進展とともに、現代人が身につけるべき知や知識の中身は変化しつつあります。なかでも実践知は、日々の日常的な判断や決断をはじめ、専門家の仕事など人間生活全般に及ぶ知だといえます。教育実践に必要な知とは何か？実践知の養成は可能か？実践知を手がかりに教育研究の未来を展望してみたいと思います。

### 海外からの参加報告者

Christoph Wulf (ドイツ ベルリン自由大学)、Peter Jarvis (イギリス サリー大学)、Winthrop Burr (アメリカ ハーバード大学)、Barbara Burr (アメリカ ボストン小児病院)、崔恩榮 (韓国 大邱大学)、孔マリア (韓国 大邱大学)、Chung Ki-Seob (韓国 仁荷大学)、石田正人 (米国 ハワイ大学)、孫富強 (中国 北京師範大学)、Ruprecht Mattig (ドイツ ドレスデン工科大学) 他

## <シンポジウム> 3月20日(水) 百周年時計台記念館 百周年記念ホール

9時45分 - 12時30分 (9時15分 受付開始)  
 基調シンポジウム

### 「実践知と教育研究の未来」

13時30分 - 17時30分

シンポジウム

### 「医療と臨床心理 糖尿病医療学における臨床心理学の支援」

## <分科会>

### 3月20日(水)

#### <時計台>

第1分科会 14時00分 - 17時30分  
 Group Supervision for Clinical Interview

第2分科会 14時00分 - 17時30分  
 人類学的思考と教育のフィールド研究

第3分科会 14時00分 - 17時30分  
 変貌するアジアの大学院教育

#### <芝蘭会館>

第4分科会 14時00分 - 16時30分  
 東アジアにおけるパフォーマンス評価の到達点と課題

第5分科会 14時00分 - 17時30分  
 生涯教育論実践研究の方法論

### ポスター発表

3月20日 12時00分 - 14時00分 時計台国際交流ホールⅢ

3月21日 12時00分 - 14時00分 時計台国際交流ホールⅢ

### 3月21日(木)

#### <時計台>

第6分科会 9時30分 - 12時00分  
 途上国教育研究の展開

第7分科会 9時30分 - 12時30分  
 教育学の可能性

#### <芝蘭会館>

第8分科会 9時30分 - 12時00分  
 心理アセスメントの実践的な読み解き方

#### <時計台>

第9分科会 14時00分 - 15時30分  
 等価性と余剰の交錯—教育学の未来を問う

第10分科会 14時00分 - 17時00分  
 Child Psychiatry in the USA

#### <芝蘭会館>

第11分科会 14時00分 - 17時00分  
 描画表現から見た子どもの発達・教育—日韓比較を通して

第12分科会 14時00分 - 17時30分  
 エスノメソドロロジーの可能性

参加費  
無料

事前申込  
不要

(ただし、一部、事前申し込みが必要な企画もございます。上記HPをご確認ください。)



本プログラムの詳細につきましては、  
 下記HPよりご確認をお願いいたします。

<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/takuetsu/>

お問合せ先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院教育学研究科

「卓越した大学院拠点形成支援」運営委員会

E-mail [takuetsu@educ.kyoto-u.ac.jp](mailto:takuetsu@educ.kyoto-u.ac.jp)